

それでは、おはようございます。日曜日の朝の第二礼拝へようこそ。日曜日は、二つの礼拝をしています。第一礼拝は「聖書預言・アップデート」第二礼拝は、聖書を一節一節の学ぶ「聖書の学び」です。「テモテへの手紙第二」を学び終え、現在「テトスへの手紙」に入っています。先週、1章から始めました。御心であれば、今日は4節から8節まで進みます。それが今日の聖書箇所です。よろしければ、さっそく始めます。ここにお越しの方で、可能な方はお立ちになり、私が読む箇所を、ついてきてください。ご無理な方は、座ったままで結構です。第1章4節からです。パウロは聖霊に導かれ、テトスに手紙を書いています。

テトスへの手紙第1章

「同じ信仰による、真のわが子テトスへ。父なる神と、私たちの救い主キリスト・イエスから、恵みと平安がありますように。」-4節-

「私があるあなたをクレタに残したのは、残っている仕事の整理をし、私が命じたとおりに町ごとに長老たちを任命するためでした。」-5節-

「長老は、非難されるところがなく、一人の妻の夫であり、子どもたちも信者で、放蕩を責められたり、反抗的であったりしないことが条件です。」-6節-

「監督は神の家を管理する者として、非難されるところのない者であるべきです。わがままでなく、短気でなく、酒飲みでなく、乱暴でなく、不正な利を求めず、」-7節-

「むしろ、人をよくもてなし、善を愛し、慎み深く、正しく、敬虔で、自制心があり、」-8節-

では、ご一緒に祈りましょう。主よ、あなたの御言葉、今日、私たちの前にあるこのあなたの御言葉箇所に感謝します。主よ、この時間、聖霊が私たちの心を落ち着かせ、私たちの意識を全集中させてくださいますように。私たちは気が散ることなく、聖霊があなたの教会に語られる全てを、聞く耳を持てますように。主よ、あなたのしもべたちは聞いています。お語りください。イエスの御名において祈ります。

アーメン、アーメン。

ご着席ください、ありがとうございます。今日与えられた御言葉について主に尋ねたところ、私たちが「整理整頓する」事について、話すよう示されました。私はこの説教のタイトルが、医師が余命わずかな患者に話す如く、一見、病的に聞こえるのは良く分かります。しかしこんにち、特に世界で起こっているすべてのことを考えると、その明快な警鐘は、私たちの霊的な家を整えることだというのが私の信念です。私たちにはあまり時間が残されてません。今日はその話をしたいと思います。旧約聖書「第二列王記」に記されている魅力的な記述から始めたいと思います。実際には「イザヤ書 38 章」にも記されていて、「第二歴代誌」にも書かれています。預言者イザヤが、ヒゼキヤ王に警告した内容の記述です。

列王記 第二 20章1節

「そのころ、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。そこへ、アモツの子、預言者イザヤが来て、彼に言った。「主はこう言われる。『あなたの家を整理せよ。あなたは死ぬ。治らない。』」

なぜ私がこの記述から始めるかということ、ヒゼキヤがこれに応答したからです。彼はこの預言に応じて、主に泣き叫び、主に憐れみを乞うているのです。主は彼の叫び声を聞いて、ヒゼキヤの寿命を15年延ばされました。しかしそれは彼のためではなく、イスラエルのためだったのです。そして悲しいことに、彼はその間に高慢になり、最終的にはそれが彼の失敗につながりました。しかし最後に、彼は警告を聞き入

れ、彼の家を整えたのです。今日の箇所では、パウロがテトスに手紙を書き、テトスをクレタ島に残した理由を説明しています。それは、やり残したことを整理するためであり、具体的にはパウロの指示通りに各町に長老を任命し、無秩序に見えた状態を整えるためでした。つまり、やり残したことがあったので、パウロはテトスに手紙を書き、「これがクレタ島にあなたを残してきた理由だ。」と言っているのです。テモテをエペソに残した理由と同じように、そこにやり残したことがあり、長老を任命して、物事を整理し、整える必要があったのです。私達の霊的な家を整える時間があるならば、それはまだ時間があるうちに、今がその時だと言わせて頂きます。だからこそ、物理的な意味での身辺整理と霊的な意味での身辺整理を比較するのは適切だと思います。物理的には、時間がないことを知っている時、財政的、法律的な事柄などはチェックリストがあるから、自分の身辺整理をしなければなりません。実は同様に、霊的なチェックリストの類もあります。この霊的チェックリストは、「テトスへの手紙1章の6節から8節」にあります。全部で14個ありましたので、これから見て行きます。しかしその前に、まずこれらは、どのような文脈で書かれたのかを前置きするのが私の責務だと思います。私たちが「テモテ書」と「テトス書」を愛をこめて牧会書簡と呼んでいるのはこれが理由であり、監督、執事、長老、そして間違いなく牧師の資格を示しているからです。「テモテへの手紙第一3章」を学んだ時、私たちはその側面から聖職に就く者の資格についてアプローチしました。そして、この「テトス書」にあるものよりも実際もう少し広範囲で、網羅的にさえ書かれていました。再び主に尋ねた時、この視点で改めて考えると、これが監督者の資格なのだ痛感しました。皆さんは私を見てこう言うでしょう。「これはあなたの為です、牧師！ 私たちはここにいる必要はありません。今から出て行きますね。」頭を下げて、目を閉じて、抜け出す... 「あなたは牧師ですから、あなたが必要とすることです。長老！長老もここにいた方が良いでしょう。」 「また牧師補佐役もいるべきです。監督者の資格があるのですから。」いいでしょう。私たちは「第一テモテ3章」でそれを学びました。一緒に学びに参加してくれてた方に、お礼を言います。しかし、主はこの箇所にこんにちの私たちへの言葉を込められていると思います。その言葉とは「今こそ私たちの霊的な家を整える時。」ということだと思います。理由は、これら全体的のポイントを見て、いわゆる「牧会書簡」がこれだったからです。自分の家を整頓していない人に、自分の家が整っていないというのに、どうやって教会での奉仕を期待できますか？ つまり、家が整っていない、霊的な家が整っていないから失格なんです。ですから、彼らは教会で奉仕することも、監督になる資格もないのです。だからこそこのテンプレートを用いて、ある意味、終わりの時のクリスチャンとしての私たちの生活に重ね合わせたいのです。つまりこれを使って、私たちクリスチャン生活の中で身辺整理というレンズを通して観ていきたいと思います。私はちょうどこんなことを考えていたのですが・・・。主よ、思い出させてくださり感謝します。先週も考えていたのですが、裁きは主の家で始まります。裁きは主の家で始まるのです。再度これは、もう時間がないから、私たちクリスチャンにとって、家の中を整頓し、整理整頓するための、明快な呼び掛けです。そうすることで、私の希望であり祈りは、整え正しくする必要がある、私たちの心の奥底の深い凹みに、聖霊に自由にアクセスしていただく事です。それは正しくない。あなたは正しくないの分かっています。そして主は、非難するのではなく、聖霊の静かな小さな声であなたに確信を与られます。主がそうなさる時、私たちは、彼を避けたり、目を背けたりしがちになります。「はいはいはいはい。」と。木曜日の夜にこの話をしていました。責任を取ること、自分の罪の責任を取り、それを、罪と呼ぶのと関係しています。ちょっと説明させてください。これは私たちの理解に役立つことだと思います。私たちが何をするかご存知ですか？ それを罪とは呼ばず、問題と呼ぶんです。「私は、人生の中で一

つの問題を抱えています。」— 本当に？それは問題なのでしょうか？ それは、すごく聞こえが良いですよね。「それは、姦淫みたいなものですよ。」「ああ、そうは言わないでください。不倫。不倫だったんです。」違います！姦淫です！！ あなたは罪を犯したのです。「ああ、でもこれはただ1つの問題で...これは...」— 違います！罪です！

ヨハネの手紙 第一 1章9節 (参照)

「もし私たちが自分の”問題”= (罪) を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪赦し、私たちをすべての”不倫”= (不義) からきよめてくださいます。」

あなたが、そのラベルを貼り替え、もはや罪ではないとするなら、神はどのようにしてそれを赦し、あなたを清めてくださるのですか？ ですから私たちは人生における聖霊の清めの業、聖化の働きに反抗しているのです。そして罪は、“禁じられている”から悪いではありません。罪は、“悪い”から禁じられているのです。これは、私たちが罪を犯すことで、不必要な痛みと苦しみに合わせたくないと願ってくださる、私たちを愛して止まない愛に満ちた天の父です。この後見るように、主は、私たちが正しく、欠けの無い、聖なる者であることを願っておられるのです。では、入りましょう。

最初のものは、“非難されるところがない”です。この言葉は、“人間のギアを詰まらせる (心を揺さぶる)、現代的比喩にすれば、“人間のハードディスクをクラッシュさせる”でしょう。これは、“罪が無い”という意味ではありません。それは敵が非難を利用して、福音に非難と咎めをもらたし、私たちの生活の中を無にしてしまう事を意味します。たとえ濡れ衣を着せられても、咎められない何かに、誤って咎められてもそれは問題になりません。それは”非難されない”ことです。非難されることはありません。非難を超えた人生を生きています。「テサロニケ人への手紙 第一 5章 23~24節」で使徒パウロが語っています。

「平和の神ご自身が、あなたがたを完全に聖なるものとしてくださいますように。」

「あなたがたの霊、たましい、からだのすべてが、私たちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのないものとして保たれていますように。」

そして、24節をよく聞いてほしいのです、これはゲームチェンジャーですから。

「あなたがたを召された方は真実ですから、そのようにしてくださいます。」

これは、神の御言葉の中でも、どこに重点が置かれているのかを理解すべき箇所 1つです。その節の単語の強調の仕方で、節全体の意味を変えることができるのをご存知ですか？ 例えば、

"The one who calls you is faithful, and He will DO it."

(あなたがたを召された方は真実ですから、そのようにしてくださいます。)

"And He will do IT." (DO”でなく”IT”を強調よろしい。私がこれだと思うのは、"And HE will do it."

(IT”でなく”HE”を強調) 意味合いは「あなたには出来ないから、やらない」です。“彼が”あなたを聖別してくださるのです。聖い生活を送るための聖霊の力です。クリスチャン人生の初めのころ、なんと私は自分の力で、自分の努力でやろうとしていました。私は献身し、約束し誓いをし、「ああ、神よ~~~~~！」という感じでした。もっと聖なる感じがするので、効果音を入れてみました。誓いますう~~~~~♪ 天の愛する父がこう仰るのを、思い浮かべてしまいました。「二度とあんなことをしてはいけません。なぜならあなたはまたするからです。」特に年の初めに、そういう決意をするのは事実ではないですか？ はい、何の冗談でしょう！ もしあなたが私同様なら、大体1月3日にはその決意を破っているでしょう。「ほらね。」先日、ある人とこのことについて話していました。「敵はこれを利用して非難を

浴びせるぞ〜。」最初、善意で始めます：一年で聖書を全部読みたい！1月1日から開始。絶好調です。まあ元旦だし、休みだから当然順調です。1月2日：ほ〜焦りますが、まあなんとかやりました。1月3日：あ〜、遅れを取ってる。1月7日：来年でもいいかも、でしょう？ "HE" (主) がしてくださいます。このようなことを聞いたことがあります。3ステップ・アプローチと呼ばれています。

ステップ1：あなたにはできないことを知る。

ステップ2：彼が御出来になるのを知る。

ステップ3：準備はできていますか？ 言いますよ。彼にしてください。彼にしてくださいのです。

神はあなたの助けを必要としていません。「私を助けたいのですか？」と仰る主の声が聞こえてきそうです。それはそれで可愛いのですが。子どもが小さい時のようなものではないでしょうか？ 彼らはあなたを助けたいと思っています。「ねえ、パパ〜」うちの子たちが「パパ、お手伝いさせて〜」と言っていたのを思い出します。私は、面倒くさいけれど可愛いから、「いいよ、分かったよ。」私は、彼らが手伝おうとしたことを元に戻すために 6〜7時間の刑を宣告されたのを覚えています。可愛かったし、写真も撮れました。一(笑)ー それは、ほとんど主がこう仰っているようなものです。「私を手伝いたいのですか？ 私の邪魔になるから、手伝わないでください。」あなたの道を私に委ねて〜♪ 私が主なのだから、私がします！ あなたがそれをしたいと思っても、どうせ出来ないんだから。それは、神の聖霊があなたを通してあなたを聖別し、霊、魂、体のすべてを罪のないものにしなければなりません。それを聖化と言うのです。

2つ目。翻訳によっては"一人の妻の夫"と書かれていますが、これは聖書の解説者の間で多くの議論を引き起こしています。女尊男卑ではなく、一人前の男であることが強調されています。そして、特にこの終わりの時に、結婚生活をきちんとしていることを物語っています。エペソ人への手紙、5章21節に注目して下さい。22節ではありません。22節の前が21節だからといって、22節に目を向けてはいけません。22節は良くご存知だと思います。皆さんに言う必要はありません。"妻たちよ。自分の夫に従いなさい。" これは調べなくてもわかりますよね。その前の節、21節の話をしたと思います。男性方はこれは好きじゃないから、ここは読み飛ばして、22節へ行きます。いけません。そんなに慌てないでください。なぜ？ それは21節で、パウロが夫と妻に向かってこう言います。

「お互いに従いなさい。」(エペソ 5:21)

「何ですって?! 妻には従いません。俺は家の主だ。家族の主導権を握っているんだ!」(直訳: 家族の中でパンツを履いている)「かっこいいだろう。 妻が、どんな柄のパンツを履けば良いか教えてくれる....」一(笑)ー これは、結婚に関する教えではないはずですが、パウロは、"お互いに従いなさい"と云っただけで終わらず、その理由を説明しています。

「キリストを恐れて、お互いに従いなさい。」ーエペソ人への手紙5章21節ー

夫と妻の結婚生活がうまくいって、キリストへの畏れの念から互いに従い合っていれば？ ワォー！ それは素晴らしい結婚ですね。結婚は地上の天国になることもあれば、地上の地獄になることもあります。しかし、後者になる必要はありません。では、子どもたちについて(3つ目)話しましょう。えっ皆さん、どうしてそんな反応をするのですか？ いいですか、私だって本当は、これを飛ばして、先に進みたいのですが、それは許されません。"子どもたちは、放蕩を責められたり、反抗的であってはいけない。"ああ、あらまあ、これが問題ですよ、親御さんたち、自分の家庭のことになると、私が親として学んでいることの一つは、不誠実となりますので、学んだとは言いません。私は今も学び続けていま

す。あなたは、子どもが産まれる前は完璧な親でしたよね？ 全ての育児本を読破し、自分は分かった！という感じで。そして第一子が生まれて、ウワァ〜 育児本をゴミ箱に捨ててしまう。子育てのことを何も知らないことに気づくのです。そして二人目の子どもができて、気がつく。子育てのことについて、全く知らない！と。でも、ここで、私が子育てについて学んでいることのひとつがあります。親である私たちは、子ども の尊敬を得なければなりません。それは得る何かであり、神聖なもので、子どもの尊敬を得るとき、それ自体が子どもを従順にします。注意して聞いて下さい。私自身を例に挙げてみます。私が犠牲になります。私の子育ての中で、自分を謙虚して、子どものところに行き、許しを請わなければならない時がありました。そして、当時の私が知らないうちに、 その時から、子どもたちに強烈な影響を与えていたのです。彼らは、よく思い出させてくれます。私が彼らのところに行って許してもらわなければならなかった理由は、チェックリストの4つ目の「威圧的にならない」ということです。これは、威圧的な独裁者ではなく、慈悲深いリーダーシップで家を整えることに関係します。「エペソ人への手紙 6章」をじっくり見てみましょう、少し長くなりそうですが、エペソ人への手紙 6章 1節から 4節、親である私たちは、4節までの最初の部分が大好きです。それは、私たちが素早く読んでしまう別の節です。

エペソ人への手紙 6章

1節「子どもたちよ。主にあって自分の両親に従いなさい。これは正しいことなのです。」

そのとおりです！

『あなたの父と母を敬え。』これは約束を伴う第一の戒めです。』

実は、十戒の中の唯一の恵みなのです。他の9つの戒めはすべて “～してはならない。汝がそれをした日には、必ず死ぬであろう。”そして、母と父に暗記させられた第五戒にたどり着きます。

「あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。」—出エジプト記 20章 12節—

ほら、何年経っても覚えているんですよ。興味深くないですか？ 5という恵みの数字。第五の戒めは、唯一恵みが伴う戒めです。約束とは何か？ 恵みはどこにあるのか？

『「そうすれば、あなたは幸せになり、その土地であなたの日々は長く続く」という約束です。』

—エペソ人への手紙 6章 3節—

人間としてこれを想像してはいけません。父と母を敬えば、180歳まで生きられるのだとか、これは充実した人生、祝福された人生という意味です。しかし、その後には4節があります。私の子どもたちは、この節を暗記してました。皆さんのお子さんもそうだったようですね。

「父たちよ。自分の子どもたちを怒らせてはいけません。むしろ、主の教育と訓戒によって育てなさい。」

—エペソ人への手紙 6章 4節—

主の畏れと訓戒です。皆さん、悲しいことに、私は自分の苛立ちで、どれだけ子どもたちの怒りを募らせたことでしょうか。子ども達を際限なく苛立たせてました。有罪判決が出てしまいそうなので、5つ目に移ります。もちろん、これも有罪判決です。私は、14全部の容疑で逮捕されるのですから。実際、自分自身のリストを追加できるでしょうから。“短気でなく” — 癩癩を起さない。これは怒りをコントロールすることを意味します。怒りを制御し、自分がどう行動するかで、聖霊によって鍛えられるよう努めることです。エペソ人への手紙の話に戻りますが、今回は 4章 26-27節です。これは怒りに関しては、誰もがゾッとするものです。パウロはこう書いています。

「怒っても、罪を犯してはなりません。」

その理由は、

「憤ったままで日が暮れるようであってははいけません。」「悪魔に機会を与えないようにしなさい。」(エペソ 4:26-27)

皆さん分かりましたか？ 理解しているかどうか確認してみます。怒りの中で罪を犯すことは、悪魔にサイン入りの白紙小切手を渡し、悪魔が望む金額を記入させるのと同じことなのです。パウロはそのことを言っているのです。私は、扉を開けてしまった。今やサタンはその扉に足を踏み入れ、私の怒りがその扉を開けたのだから、あなたがその話の続きを書くことが出来てしまう。

6つ目、”酒飲みでなく”。家の中がきちんとしている人は、遊びまわったり、パーティーしません。特に今は、世の中で起きていること全部が信じられません。世は、遊び場ではないと言われています。戦場なのです。問題はそのことで、木曜日の夜、これに関して話しました。これは豊かさ、良すぎる物を、あまりにも長期間持つことの危険性の1つです。あなたは主どころではありません。快樂主義と世俗的な享樂追求に委ねてしまうのです。これを、7つ目の”乱暴でなく”に結び付けます。これは、思いやりと優しさ、意地悪ではないこと、物理的な意味での虐待ではないことを語っています。しかしさらに重要なのは言葉として、人々との会話により、言葉で虐待することだと私は主張します。気が短く、言葉遣いが荒いことです。人類の歴史の中で、家を整える必要がある時期に、大きなダメージを与えるとさせて頂きます。パウロがローマの教会に13章で書いたことを聞いてください。11節から14節までを読みます。

ローマ人への手紙 13章

11「さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。あなたがたが眠りからさめるべき時刻が、もう来ているのです。今は救いがもっと私たちに近づいているのですから。」

12「夜は深まり、昼は近づいて来ました。ですから私たちは、闇のわざを脱ぎ捨て、光の武具を身に着けようではありませんか。」

13「遊興や泥酔、淫乱や好色、争いやねたみの生活ではなく、昼らしい、品位のある生き方をしようではありませんか。」

14「主イエス・キリストを着なさい。欲望を満たそうと、肉に心を用いてはいけません。」

「御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。」(ガラテヤ 5:16)

若い信者だった頃の私には、それがどのようなものなのか理解できませんでした。「御霊によって歩みなさい。そうすれば肉の欲望を満たすことはありません。」とは、どういう意味なのか？ 主はいつもご忠実であられる通り、その本当の意味を私に教えてくださいました。こんな風に理解し、こんな風に表現し、こんな風に教えています。肉のためのに時間を持たず、御霊の中で忙しくしなさい。あなたは御霊に満たされて、肉のための欲求すらなくなります。最高の描写は、もっと良いものがあれば教えてください。しかし、これは私の中ではこれです。食べ物の描写です。私は食べ物が大好きなので、食べ物の描写が大好きです。ということで、これがその描写です。あなたは夕食に私を招待します。もちろんコロナのせいで今は無理ですが、説明のために仮にそうしたとしましょう。夕飯のために、あなたのお宅に向かう途中、私はタコベル(ファストフード店)の前を車で通ります。これは弱さです。このことを告白しました…、はい。タコス12個入り、バラエティパックもあるんですよ。ドライブスルーも便利です。もちろん、あなたのお家に行く途中で、誰も並んでいないので、なんとというか、こんな声が聞こえてくるのです。

『JD...』『おぉ...』私は屈して、ドライブスルーを通り、12個のタコスとブリトーシュプリームとチャ

ルーパをむさぼります。それで十分です。そしてあなたの家に到着すると、あなたは、信じられないような、壮大で美味しい夕食を作っています。そしてここで私は、非常に満腹です。タコスであっても、もう一口も食べられません。私が何を言いたいのかお分かりですね？ それを逆さにしてみましょう。私はあなたの家に行って、素晴らしい夕食を食べています。本当に祝福され、交わりや食事や楽しみがありました。そして、車で帰宅してタコベルの前を通ります。ささやく必要はありません。『JD、おーい！』私はこんな感じです。「いらないよ。私は御霊のもので満腹だからね。」肉的な欲求もなく、食欲もありません。つまり、以前は誘惑されましたが、今では？違います、私は御霊に満たされています。私は御霊の中を歩んでいます。私は御霊によって生きています。こう言えるのであれば、私はタコベルで肉を満たすつもりはありません。要点はお分かりですね。それが、パウロがここで語っていることです。私たちは夕食に、子羊の婚姻の晩餐に招待されているのです。それは、ご馳走であり、祝宴になるでしょう。世の中のもの、肉の欲で自分自身を満たさないようにしましょう。本当にまだ罪を示されていますので、何か見つかるかどうかを見てみましょう。ここでちょっと一息ついてみましょうか。

8 目：“不正な利を求めず”これが何を物語っているか分かりますか？ それは私たちの財政の誠実さと、お金に対する姿勢のことです。これは大問題です。クリスチャン・ファイナンシャル・コンセプツの創始者である故ラリー・バーケットは、このように言っていました。“お金の扱い方で、人の霊的状态がわかる。”お金は霊的バロメーターです。あなたのお金に対する態度、お金の扱いは、あなたについて多くを物語ります。「第一テモテ 6 章」それは聖書の中で、最も誤って引用されている箇所の一つです。

6 節から 10 節をお読みしたいと思います。パウロが語っています。

第一テモテ 6 章

6,7 節「しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそが、大きな利益を得る道です。私たちは何もこの世に持ってこなかったし、また、何かを持って出ることもできません。」

(本当に！) 今のは原文にはありません。JDV 訳 (JD 牧師訳) です。

8 節「衣食があれば、それで満足すべきです。」

9 節「(しかし) 金持ちになりたがる人たちは、誘惑と畏と、また人を滅びと破滅に沈める、愚かで有害な多くの欲望に陥ります。」

そして 10 節です。

10 節「金銭を愛することが(金銭ではなく、金銭を愛すること)、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、多くの苦痛で自分を刺し貫きました。」

今、世の中で起こっていることと一緒に考えてみると、私たちは「おい、全部燃やされ尽くすぞ」というような言い方が好きなんです。一緒に持っていくことはできません。本当にそう信じず、そう生きていない私たちはどうなのでしょう？ どうにかして、この地上に溜め込んでいるものを持って行こうと思っているでしょう。それは何の意味もありません。何の意味もありません。巨額の富があって、死の床にいる何人が、それが彼らには何の役にも立たないからと、喜んですべて手放そうとするのでしょうか？

「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら何の益があるのでしょうか。」(マタイ 16:26)

繰り返しますが、お金が悪ではありません。それは、お金を愛することが悪です。お金の道徳観念はありません。それは不道徳な目的のために使われることもできますし、道徳的な目的のために使われることもできます。しかしお金の問題は、もしお金を愛し、追い求めて、溜め込んでしまうなら、人生を壊して

しまうこともあるのです。それはあなたの人生を破壊しうるのです。私はこの最後の 6 つのリストを、まとめたいと思います。すぐにその理由は分かると思います。

9 番目：“人をよくもてなす”これは、外国人や見知らぬ人に親切にしたり、招待したりすることを意味しています。

10 番目：“善を愛する”これは、良いもの、神のものを愛することであり、この世のものを愛さないことです。天国のこちら側の世には、一定の緊張があります。世に在ることであり、世のものではありません。世が引き付けるもの、そこに魅力があります。なぜなら、“ビッグ3”を扱っているからです。世界、肉、そして悪魔です。そして、時にはこの世のものは非常に魅力的なものになることもあります。そして繰り返しになりますが、この世のものを持つことは何も悪いことではありません。あなたが何を所有しているかではありません。何があなたを所有しているかが問題です。私たちは世の中にいますが、世のものではありません。私たちがこの世と、この世のものを愛さないことです。なぜならもし私たちが、この世やこの世のものを愛するなら、聖霊によって使徒ヨハネがこう語ります。

「その人のうちに御父の愛はありません。」(第一ヨハネ 2:15)

ヤコブ、ああ、彼はただ、彼のこの問題の扱い方は、全く恵み深いとは言えません。皆さん、この男を責めることはできないのが分かりますね。つまり彼は、ヨセフとマリアの間に生まれた人類の救世主イエスの異父兄弟だったのです。想像できますか？ 神であり、完璧な異父兄弟のいる家庭で育つなんて？ 私もヤコブのようにになりたいのです。彼は手加減しません。ありのままを語っているのです。世の中のものを愛して、世の友となることについて、彼は何と言っているかご存じですね？ 彼はこう語っています。

「あなたは神の敵です！」 どうでしょうか？ **(ヤコブ 4:4 参照)**

おお、それは説教になりますね？ もちろん人々は戻ってこないでしょうが、「私は”気持ちの良い”説教が聞きたい。」もちろん皆さんのことを言っているわけではありません。「私が聞く必要のあることではなく、聞きたいことを語ってください。」と。いいえ、私たちはこれを聞く必要があります。「あなたは世を愛していますね。」「あなたは霊的に姦淫を犯しています！」どうでしょうか？！ あなたは世を愛し、あなたは世と友となっています。すべての人があなたのことを良いように言うときに注意してください。あなたは世に、世のものに安住しすぎています。あなたは、大文字の「DEAD DUCK(死んだアヒル/ 役立たず)」です。あなたは敵にとってはカモです。ところでペテロに聞いてみてください。彼は敵の火で体を温めることに快適すぎて、主を否定してしまいました。

11 番目：“自制心がある”これには、冷静に、真剣に神のこを受け止めているという考えがあります。これは決してユーモアのセンスがないということではありません。そうだとすれば、私は今すぐに出て行くでしょう。なぜなら、神はユーモアのセンスをお持ちですよね？ しかし、神のこを真剣に受け止めて、真面目に、冷静に生きるべき時があります。

12 番目：“正しい” 繰り返しになりますが、これは霊的なチェックリストであって、聖霊が私たちの心の凹みに自由にアクセスし、私たちの心を探り、私たちの中に邪悪な道がないか、正しく整え、整理する必要があるものがないかどうかを確認いただくためのものです。このような場合にも当てはまります。

「正しい」この意味が分かりますか？ 人々との関りの中で、公正で、正しくあること、それが正しいことであるから、正しいことをすることです。それが、正しくあることです。それは誠実に歩むことです。

13 番目：“聖さ” これは「非難されるところのない」が誤解されやすいものの一つです。もしあなたが

私のものであるなら、そうであると思いますが、聖さについての、特に神が「わたしが聖であるように、あなたがたも聖となりなさい」と仰られている箇所を読むときはいつでも、「ああ…(泣)。聖なる者にならないと…！私はどうすればいいの?!」あなたではありません。聖霊がしてくださいます。

奥が深いですよ。聖なる生活＝聖なる霊(聖霊)もう一回やってみましょう。あなたの内にいる聖霊は、あなたが聖い生活を送るのを可能にし、力を与えてくださいます。私が聖さ(holiness)をどう理解しているか分かりますか？ 完全(whole-ness)で、満ちていること(full-ness)です。中途半端(half-ness)ではなく、満ちており、完全で、完全にされ、聖なるものにされることです。それは聖霊の働きです。なぜなら、**"その働きを始められた方は忠実な方ですから、そのことを完成させてくださいます。"**(第一テサロニケ 5:23,24 参照)

最後に 14 番目："自己規律"つまり、「自己解説」という意味ですね？ いいえ、「自己規律」？ 第一礼拝の「預言アップデート」では、「自己欺瞞」についてお話ししました。「自己欺瞞」とは何か分かりますか？ 自分自身に騙されることです。繰り返しますが、奥深いですね。つまり、あなたは自分自身を騙すことができ、自分の嘘を信じてしまうほどに自分を騙すことです。自己欺瞞。さて、その反対側には自己規律があります。あなたは自分自身を律することもできます。自分を欺くことも出来れば、自分を律することも出来るのです。「ちょっと待ってください、私はあまり自制心ある人間ではありません。なぜなら、一年で聖書を通読しようとして、1月2日までで終わりましたから。」私にはその自制心がないんですよ。では、私はどうやってそれをやればいいのでしょうか？ 尋ねてくださって、とても嬉しいです。答え：あなたではありません。聖霊です。ガラテヤ 5 章、私たちはそれをよく知っています。22 節から 23 節を読みたいと思います。

ガラテヤ 5 章 22 から 23 節

「しかし、御霊の実はこの言葉を覚えておいてください)、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、柔和、自制です。」

要はそういうことです。

「このようなものに反対する律法はありません。」

はい、良く聞いてください。これについて話しましょう。これは聖霊の賜物ではありません。それは全く違うものです。なぜなら、贈り物とは、与えられる物で、あなたが受け取れば、手に入ります！ 申し訳ありません、オンラインのスピーカーやエアポッドを吹き飛ばすつもりはありませんでした。これは贈り物ではありません。決定事項であれば良かったのに思います。贈り物であれば？ 手に入ります。愛の贈り物だったら良かったのですが。「神よ、私はもっと愛することが必要なのです。」—「愛の贈り物をどうぞ。」「ああ、ありがとうございます、主よ。」リストを見ていきましょう。

”喜び”、「私には喜びの贈り物が必要です。」それは贈り物ではありません。実です。実のことをご存じですか？ それらは、成長するのに、なが〜い時間がかかります。何年前、これは本土に居た頃です。私たちは家を買ったばかりでした。大きな裏庭と、フェンスがありました。それは、フェンスと庭だけでした。低木を植える必要があると考えていました。”生命の樹”をご存じかどうか分かりませんが。この辺りでは見かけませんが、ただの低木です。それらは生垣を造り出します。なんだか、すごい量でした。私はこれを決して忘れません。昨日のことのようです。私たちは 53 個それらを植えました。53 個購入しました。キリストにおける兄弟に、植え付けを手伝ってもらいました。それが、私の最初の間違いでした。誰かにやってもらう余裕がなかったので、買ってきて、そこに植えることにしました。小さい方が、より

値段が安いですね？ 大きいのを買うと、その分のお金を払うことになりますから。私たちは余裕がなかったので、小さな赤ちゃんの、ちっぽけな生命の樹を購入しました。全部で53個も植えてしまいました。それらが植えられた後、私は裏庭に立って、これらを見ていました。それらは本当に小さいのです。早く成長して欲しかったので、ミラクルグロー（肥料）を買ってきました。はい。実際にたくさん買いました。私は使用方法に従いません。皆さん、そうですね？ 私たちは使用方法に従いません。裏面には、この量に対して、この量を使用してくださいとあります。いいえ、私はその倍を使います。ああ、神は何度も私を、私から守ってくださいました。なので、ここで私はこのミラクルグローをスプレーし、水やりをして、「早く成長しろ！」と叫んでいます。数年後、私たちはここ(ハワイ)に引っ越してきました。たまたま、本土にある我が家が売りに出されている写真を見つけました。次回販売時の様子です。裏庭の写真が載っていて、私の生命の樹の写真も載っていました。－(泣)－ それらは高さ15～20フィートになっているのです！ もちろん、それは20年後ですよ。私が何を言いたいのか、お分かりでしょう？ ここの描写はあまりおかしくしすぎないようにしますが、要点は分かりますね？ それは、あなたが恵みの中で成長し、キリストの中で成熟するのと共にやってきます。同意してくださるでしょうか？ 主と共に歩んできた期間が長い人は、20年以上、30年以上、振り返ってみると、あんまりやりすぎると意気消沈してしまうので、止めてくださいね。ああ、私は酷かったです。「はい、そうでしたね。」でもあなたは霊的に成熟して、今は実を結びました。あなたはより愛にあふれ、より優しくなっています。これはどうですか？ あなたはより…に、に、にん…忍耐強くなった。あなたがあの樹のために、ミラクルグローをいくら買っても構いませんが、あれは本当に成長が遅いのです。それはこんな祈りみたいなものです。「主よ、私に忍耐をお与えください。今すぐ！！」それは成長する実であり、それは聖霊の実です。締めくくりに、私はただ皆さんを励ましたいと思います。繰り返しになりますが、主にあなたの心を探り、クリスチャン生活の中で整える必要のある部分を探っていただきましょう。なぜなら、今はそれをすべき時だからです。整理整頓をしましょう。主が戻って来られます。そしてそれは、私も含め、私たちの誰もが実感できるほどです。賛美チームは上がってきてください。お立ちください。祈りで締めくくりましょう。

愛する天のお父様、私たちの人生に聖霊がいなければ、私たちには不可能であることを快く認め、謙虚に告白します。主よ 私たちの祈りは、当然そうあるべきなのですが、私たちを新たに満たし、聖霊の力で新たに洗礼を授けてください。なぜなら主よ、私たちは、“彼らの家は整理されている”と言われる者として数えられたいのです。主よ、私たちは時間がないことを知っています。私たちのクリスチャン生活の中には、正しく整える必要のある領域があり、おそらく正しくする必要のある人間関係があります。私たちは自分自身が不当な扱いをされたと思っている人間関係がありますが、実際には、私たちが間違っているのであり、それを正す必要があるのです。主よ、聖霊が罪を悟らせてくださることに感謝し、キリスト・イエスにある私たちには罪の咎めはないことに感謝します。しかし、静かな小さな、罪を諭してくださる聖霊の声に感謝します。あなたの指をその部分に当てて、優しく愛を込めて仰ってください。「わたしはそれを取り除きたい。」と。「それがあなたのクリスチャン生活に定着しています。それがあなたを傷つけています。害を与えています。」「率直に言えば、それがあなたを破壊しています。」もしかしたら、苦い根が発芽して芽を出し、苦い実をつけているのかもしれませんが。主よ、私たちはそれを正すために聖霊を必要としています。主よ、聖霊を感謝します。イエスの名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7